

| | | | | | |
|----------|---------------|---------|----|-----|------|
| 授業科目名・形態 | 病態治療学Ⅱ（外科） 演習 | 必修・選択の別 | 必修 | 単位数 | 2 |
| 担当者氏名 | 久保 寛仁 | 実務経験の有無 | 有 | 開講期 | 2年前期 |

【授業の主題】

消化器および甲状腺、乳腺の疾患についてその診断と治療を概説する。

【到達目標】

1. 消化器病の病態・診断・治療を説明できる。
2. 乳腺・甲状腺疾患の病態・診断・治療を説明できる。
3. 手術法を理解し手術後の消化管の状態が説明できる。
4. 病態の頻度・重症度を理解した上で疾患の重要性を考える。

【授業計画・内容】

- 第1回 食道
- 第2回 胃・十二指腸
- 第3回 小腸・大腸（良性疾患）
- 第4回 大腸（悪性疾患）・ヘルニア
- 第5回 肝臓
- 第6回 胆道・膵臓
- 第7回 甲状腺・乳腺
- 第8回 補講

【授業実施方法】

講義形式で画像、ビデオなどを使用

【授業準備】

関連分野の解剖生理を復習しておく。
臓器の役割を理解しておく。

【主な関連する科目】

成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、老年看護方法論Ⅰ・Ⅱ

【教科書等】

指定しない。

【参考文献】

適宜、紹介する。

【成績評価方法】

定期試験による評価（定期試験100%）

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

外科の臨床医として勤務。この経験を活かして実践的な授業にしたい。

【学生へのメッセージ】

疾患の要点を的確に把握することに留意する。
特に病態を理解し応用できるようにしておくこと。